分野1　予防・健康づくりに資するサービスの実用化に向けた研究開発

1.1【エビデンス強化】高齢者ウェルビーイング分野

研究開発課題名	研究開発代表者名	所属機関	役職
参加型開発に基づくPHR統合型AI仮想リンクワーカーによる高齢者の孤立低減と社会的処方の社会実装に関する研究	オガワ 淑水	東北大学	助教

1.2【エビデンス強化】職域関連分野

研究開発課題名	研究開発代表者名	所属機関	役職
働く人のメンタル不調予防に資する価値に基づく行動を促す認知行動的アプローチによるハイブリッド型デジタル介入の社会実装に向けたエビデンス強化研究（WAVE研究）	高階 光梨	株式会社Awarefy	所長
職域における生活習慣病リスクを高める飲酒の改善を目的とした「産業保健AI対話支援アプリ」の科学的エビデンスの構築・強化に関する研究開発	新田 千枝	筑波大学	助教
学校現場における教員の心身の健康保持に資する行動活性化アプリ（BEARS）のエビデンス強化に関する研究	宮崎 智之	横浜市立大学	教授

1.3【実用化実証】高齢者ウェルビーイング分野

研究開発課題名	研究開発代表者名	所属機関	役職
AIラジオを活用した認知機能低下予防と高齢者の孤独感解消の実証研究開発	小川 誠	テオリア・テクノロジーズ株式会社	プロダクトマネージャー
高齢者の便秘改善・QOL向上を目指した腸音解析ヘルスケアサービスの実用化研究	金川 典正	腸note株式会社	代表取締役
能動型AIコンシェルジュによるSNSでの社会的交流促進が高齢者の主観的ウェルビーイングに及ぼす影響の検証と実用化実証研究	河合 恒	東京都健康 長寿医療センター	専門副部長

1.4【実用化実証】職域関連分野

研究開発課題名	研究開発代表者名	所属機関	役職
個別化健康行動レコメンドの社会実装に関する研究開発	鈴木 雅	DeSCヘルスケア株式会社	その他

研究開発課題名	研究開発代表者名	所属機関	役職
郵送尿検査とAI個別最適化介入を統合した、自治体・職域連携による減塩行動変容プラットフォームの構築と実証	瀧本 陽介	株式会社ヘルスケアシステムズ	代表取締役

分野2　医療機関などでの活用を目指したサービスの実用化に向けた研究開発

2.1高齢者ウェルビーイング分野

研究開発課題名	**研究開発代表者名**	**所属機関**	**役職**
PHRを活用した介護支援のQOLおよび経済性に関する有用性評価	阿野 泰久	エーザイ株式会社	ディレクター

2.2生活習慣病関連分野

研究開発課題名	研究開発代表者名	所属機関	役職
健康管理アプリケーション（カロママプラス）のブラッシュアップおよびそれを用いたCKD重症化予防プログラムに関する研究開発	淺沼 克彦	千葉大学	教授
PHR活用型心不全管理サービスの医療提供体制への導入実用化に向けた研究	土肥 薫	三重大学	教授
IoTウェアラブル連動型脈拍ベース運動支援アプリによる心臓リハビリ業務効率化と医療機関の収益増―心血管疾患の再発・重症化予防から職域生活習慣病予防への展開―	野口 暉夫	国立循環器病研究センター	副院長

※50音順、敬称略